

news

地元・岡山の
認知症テーマに講演

αオリゴ糖での予防対策を訴え

シクロケム

認知症をテーマとした講演とコンサート「万富はつらつ大学」忘れてもいいよ」が7月25日に岡山県赤磐市で開催され、シクロケム（東京都中央区、☎03・6262・1511）の寺尾啓

二社長【写真】が、オリゴ糖をはじめとした機能性素材を活用した認知症予防を訴えた。

寺尾社長は、認知症を引き起こす要因として「インスリン抵抗性」「動脈硬化」「サルコペニア



肥満」の3点を挙げ、食事や栄養による予防対策が可能であると指摘。

「インスリン抵抗性」

の改善には、代謝に関与

するホルモン・アディポネクチンの分泌を増やすためにC O Q 10 包接体やR - α リポ酸といった「ヒトケミカル」の摂取が有効であること、 α オリゴ糖を摂取することで「真の悪玉コレステロール」といわれる小型LDLを抑制し、動脈硬化の予防が期待できることなどを解説した。

サルコペニア肥満については、タンパク質分解酵素のアクチニジンを含むキウイフルーツと抗肥満成分・MTBIを含むダイコンが有効であることとを紹介。いずれもαオリゴ糖で粉末化することにより成分が安定化するため、長期保存しても活性が維持されるところだ。

なお、今秋には岡山市・弓削の寺尾社長

生家を改装した「カフェ496」をオープンし、地元で栽培されたキウイフルーツやダイコンを用いた健康メニューなどを提供する予定だという。

また、歌手のヒサ絵さんによるコンサートでは、認知症をテーマとした楽曲「忘れてもいいよ」などが披露され、150人を超える参加者が耳を傾けた。

市・弓削の寺尾社長の